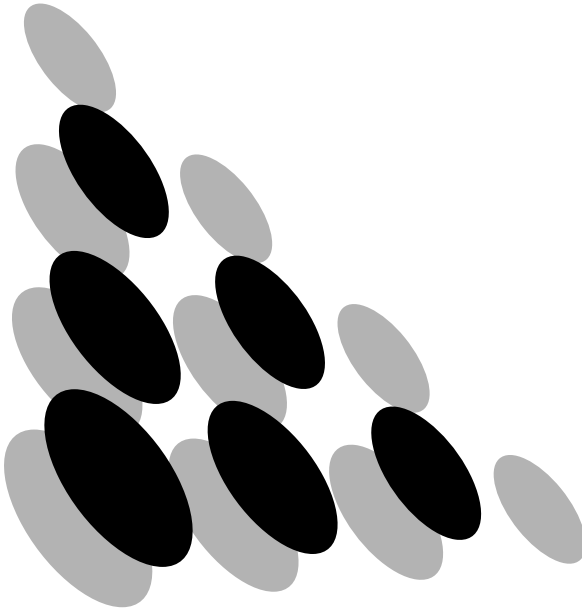


PRIMERGY

SCSIカード(PG-129)

取扱説明書



はじめに

このたびは、弊社の SCSI カード PG-129（以降は本製品と記述）をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本書は、本製品の取扱方法を説明しています。本製品を正しくお使いいただくため、必ずご覧になるようお願いいたします。

2002 年 5 月

Microsoft、Windows NT、Windows2000は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Copyright© 1985–2002 Microsoft Corporation. All rights reserved.
All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2002

梱包物の確認

本製品には以下のものが梱包されています。お使いになる前に必ずご確認ください。
万一、足りないものがございましたら、恐れ入りますが担当営業員までお申しつけください。

- ・ SCSI カード PG-129 本体
- ・ SCSI カード取扱説明書(本書)

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」とマニュアル類をよくお読みになり、内容をよくご理解のうえ、正しく製品をご使用ください。

なお、本説明書では安全上の注意点を、以下のマークとともに表示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

マーク	内容
	<ul style="list-style-type: none">■本製品を改造しないでください。火災・感電の原因となります。■近くで雷が発生した時は、サーバ本体の電源コードや本カードの外部接続コードを抜いてください。そのまま使用すると、雷によっては機器破損、火災の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">■本カードをサーバ本体に着脱する際には、安全のためサーバ本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後で行ってください。電源をいれたままカードの着脱を行うと、装置の故障・発煙などが起こる可能性があり、また感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">■機器を移動する場合は、必ず機器の外部に接続されているコード類(本製品に接続されているコード類を含む)をすべてはずしてください。コード類が傷つき火災・感電の原因となること、機器が落ちたり倒れたりしてケガの原因となることがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■製品は精密に作られていますので、高温・低温・多湿・直射日光など極端な条件での使用・保管は避けてください。また、製品を曲げたり、傷つけたり、強いショックを与えたりしないでください。故障・火災の原因となることがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■ご使用にならない場合は、静電気防止のため付属のカード袋へ入れて保管してください。

本書の構成

■第1章 概要

本製品の概要と特徴を説明します。

■第2章 セットアップ

本製品をインストールする際の流れや注意事項を説明します。



■第3章 SCSI コンフィグレーションユーティリティ

BIOS上の設定ツール「SCSI Configuration Utility」について説明します。

■第4章 デバイスドライバのインストール

Windows上で使用される際のデバイスドライバのインストール方法を説明します。

本書では、以下の表記・記号を使用しています。

表記	意味
[Enter]	[]で囲んだ英文は、キーボード上のキーを示します。
[Ct]+[C]	複数のキーを同時に押すことを示します。
	本製品を取り扱う上でのポイント事項です。
	本製品を取り扱う上での重要事項です。これを無視して取り扱うとデータの損害を引き起こす可能性があります。

目次

第1章 概要	1
第2章 セットアップ	2
2.1 搭載の前に	2
2.2 サーバ本体への搭載	3
2.3 環境設定	4
2.4 デバイスドライバのインストール	4
第3章 SCSI コンフィグレーションユーティリティ	5
3.1 起動と終了	5
3.2 メニュー項目と意味	8
3.3 Boot Adapter List の詳細	10
3.4 Global Properties の詳細	12
3.5 Adapter Properties の詳細	14
3.6 Device Properties の詳細	17
第4章 デバイスドライバのインストール	21
4.1 Windows NT4.0 環境	21
4.2 Windows 2000 環境	23
第5章 トラブルシューティング	25
5.1 チェックポイント	25
5.2 Windows 環境でのイベント	25

第1章 概要

本製品は、IA サーバPRIMERGY 用の SCSI カードです。サーバ本体の PCI スロットに搭載し、サーバ本体内蔵の SCSI 装置を接続します。

概略仕様を以下に示します。

名称	SCSI カード
カード種類	PCI カード
ホストインターフェース	PCI 66MHz/64bit
I/O インターフェース	Ultra 160 SCSI (SE/LVD)
I/O チャンネル数	1
I/O コネクタ数	1(内蔵 68 ピンのみ)
最大接続装置数	15
最大同時搭載枚数	1
サイズ	カード長:175mm , カード高:107mm

図1に本製品の外観図を示します。

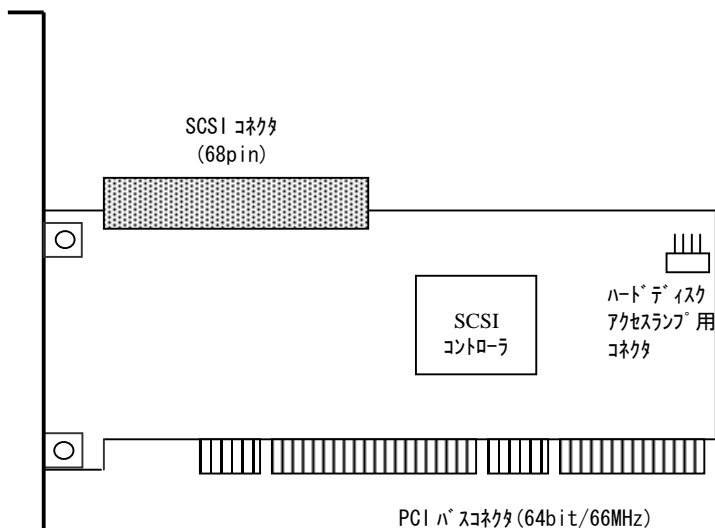


図1 外観図

第2章 セットアップ

2.1 セットアップの前に

本製品と SCSI デバイスをセットアップする前に、ここで説明する SCSI の基本的概念を理解しておいてください。この概念説明は、本製品と SCSI デバイスをセットアップし、正しく機能させる上で必要です。

SCSI ID

本製品自体はもちろん、本製品に接続されるすべての SCSI デバイスには、0~15 の同時の SCSI ID を割り当てなければなりません。SCSI ID は下記の 2 つの目的のために使用されます。

- SCSI バスにあるそれぞれの SCSI デバイスを独自に定義するため
- SCSI バスでの SCSI デバイスの優先順位を決めるため

SCSI デバイスの優先順位は、SCSI ID 7 が最高の優先順位となります、残りの SCSI ID は、降順で 6~0 と 15~8 の優先順位となります。

本製品の SCSI ID は、特に指示が無い限りデフォルト設定の SCSI ID 7 から変更しないでください。何らかの理由で、本製品の SCSI ID を変更しなければならない場合は、「3.3 本カードのコンフィグレーション」をお読みください。また、本製品に接続された SCSI 装置の SCSI ID を変更する場合は、各 SCSI 装置の取扱説明書、およびサーバ本体の取扱説明書を参照してください。

サーバ本体の SCSI チャネル、およびサーバ本体に搭載された各 SCSI カード、SCSI アレイコントローラカードの SCSI バスは独立しています。異なる SCSI バスに接続された SCSI デバイスには、同じ番号を重複して割り当てることができます。(たとえば、異なる SCSI カードに接続された 2 台の SCSI デバイスに対し、共に SCSI ID 0 を割り当てることが可能です)

SCSIターミネータおよびケーブル

信頼性の高い通信を確保するためには、品質の良いケーブルを使用すること、ターミネータ(終端抵抗とも呼ばれます)を使い、SCSI バスの終端を正しく終端することが重要です。SCSI バスにおいては、バスの両端にある SCSI デバイスではターミネータを有効にし、両端以外のすべての SCSI デバイスでは、ターミネータを無効にする必要があります。

■ 本カードのターミネータ

本製品のターミネータは、本カードが SCSI バスの両端に接続されているか、否かを判断し、自動的に設定されます。また、ターミネータを強制的に無効にすることも可能です。

■ SCSIデバイスのターミネータ

各 SCSI デバイスのターミネータ設定方法は、それぞれの SCSI デバイスの取扱説明書をお読みください。ほとんどの内蔵 SCSI デバイスは、ジャンパやスイッチを制御することでターミネータ設定を変更可能になっています。

■ SCSIケーブル

SCSI デバイスを接続するために必要なケーブルは、安全な運用を行なうための重要なコンポーネントですので、必ず搭載するサーバ本体指定のものをご使用ください。

2.2 サーバ本体への搭載



警告

本製品をサーバ本体へ搭載する際は、安全のためサーバ本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後で行ってください。電源を入れたまま本製品の着脱を行なうと、装置の故障・発煙などが発生する可能性があります。また感電の原因となります。

！ポイント

- ・ 本カードの取り付けと、SCSI デバイスの接続が終了してから、サーバ本体に電源コードを接続します。
- ・ サーバ本体の電源を入れる際には、各サーバ本体の取扱説明書をよく読んでから行なってください。

■ 本製品の搭載

サーバ本体への本製品の搭載方法、搭載位置等は、サーバ本体によって異なります。サーバ本体取扱説明書の「拡張カードの取り付け」に関する記載をよく読んで行ってください。

■ SCSIデバイスの接続

本製品への SCSI デバイスの接続方法は、サーバ本体、SCSI デバイスによって異なります。サーバ本体取扱説明書の「拡張カードの取り付け」、「内蔵オプションベイへの取り付け」に関する記載、および各 SCSI デバイスの取扱説明書をよく読んで行ってください。

2.3 環境設定

サーバ本体、あるいは本製品の BIOS 設定によっては、本製品を正常に使用できない、あるいはサーバ本体の動作が異常になる場合があります。

本製品を搭載後は、サーバ本体の取扱説明書の「オプションカードの取り付け」に関する記載を参照し、必要に応じてサーバ本体、および本製品の BIOS 設定を変更してください。

なお、本製品の BIOS 設定変更方法については、「コンフィグレーション」の章に記載してあります。

！ポイント

本カードをサーバ本体に新規に搭載する際、Boot Adapter List の設定変更が必要な場合があります。必ず、本書の「3.3 Boot Adapter List の詳細」の章に記載の項目を確認し、必要に応じて変更してください。

2.4 デバイスドライバのインストール

本製品を Windows 2000 等の OS 上で使用する場合、本製品用のデバイスドライバをインストールする必要があります。

本製品を搭載後、サーバ本体の取扱説明書の「ソフトウェアのインストール」に関する記載、および本書の「「デバイスドライバのインストール」の章を参照して、デバイスドライバをインストールしてください。

3章 SCSI コンフィグレーションユーティリティ

本製品には、SCSI コンフィグレーションユーティリティが搭載されています。以下の場合、SCSI コンフィグレーションユーティリティを呼び出します。

- ・ 本製品をサーバ本体に新規搭載する場合
- ・ 本製品や SCSI デバイスの設定の変更や確認を行なう場合
- ・ SCSI デバイスの物理フォーマット(ハードディスクユニットなど)、または媒体検査を行なう場合

3.1 起動と終了

■ SCSIコンフィグレーションユーティリティの起動

サーバ起動時(POST 実行中)に、「Press Ctrl-C to start Symbios Configuration Utility...」と表示されている間に[Ctrl]+[C]キーを押します。

「Please wait, invoking Symbios Configuration Utility...」とメッセージが変わり、以下の[Main]メニューが表示されます。

```
LSI Logic SDMS (TM) PCI SCSI Configuration Utility Version PCI-4.XX.00
<Boot Adapter List>          <Global Properties>
LSI53C8XX Host Bus Adapters

Adapter      PCI  Dev/  Port  IRQ  NVM  Boot  LSI Logic
              Bus  Func  Number  Number  Yes/No  Order  Control
<53C1010-66  0    60>   E400   9    Yes   1     Enabled
<53C1010-66  0    61>   E000  10   Yes   0     Enabled
<53C895      0    58>   FC00  11   Yes   2     Enabled

F1 =Help          ArrowKeys=Select Item      -/+ =Change [Item]
Esc=Abort/Exit    Home/End =Select Item      Enter=Execute <Item>
F2 =Menu
```

図2 Main メニュー

■ サブメニュー

SCSI コンフィグレーションユーティリティには、[Main]メニューのほかに 4 種類のサブメニューがあります。各サブメニューには、以下の様に移動します。

- ・ Boot Adapter List (起動順序等の設定)
[Main]メニュー上で[F2]キーを押下します。[Main]メニュー上部の<Boot Adapter List>にカーソルが移動しますので、[Enter]キーを押下します。
- ・ Global Properties (SCSI カード/コントローラ共通の設定)
[Main]メニュー上で[F2]キーを押下します。[Main]メニュー上部の<Boot Adapter List>にカーソルが移動しますので、[矢印]で<Global Properties>に移動後、[Enter]キーを押下します。
- ・ Adapter Properties (SCSI カード毎の設定)
[Main]メニュー上で設定を行なう SCSI カードにカーソルを移動し、[Enter]キーを押下します。
- ・ Device Properties (SCSI デバイス毎の設定)
[Adapter Properties]メニュー上で [Device Properties:]を選択し、[Enter]キーを押下します。

■ 設定値の変更方法

- 1) [矢印]または[Home/End]キーを押して、設定を変更したい項目を選択します。
[矢印]または[Home/End]キーを押すと、選択項目が上下左右に動きます。
- 2) [Enter]キーを押します。サブメニューがある項目はサブメニューが表示されます。サブメニューが無い項目は設定値が変更されます。
- 3) サブメニューでも、[Main]メニューと同様に操作します。
- 4) [矢印]または[Home/End]キーを押して変更したい項目を選択し、[Enter]キーを押します。さらにサブメニューがある場合は、サブメニューが表示され、サブメニューが無い場合は、変更項目が表示されます。変更項目では、[矢印]または[Home/End]キーを押して設定値を選択し、[Enter]キーを押します。
- 5) 設定が終わったら、サブメニューの[Exit this menu]を選択し、[Enter]キーを押します。
- 6) 変更した設定値を保存するかどうかのメッセージ画面が表示されます。保存して[Main]メニューに戻るときは[Save Changes]を、保存しないで[Main]メニューに戻るときは[Cancel Changes]を、再度サブメニューに戻るときは[Cancel Exit]を選択します。

■ 各キーの役割

[F1]	ヘルプを表示します。
[矢印 (↑, ↓, →, ←)]	設定項目を選択します。
[Home/End]	
[-] [+]	項目の値を変更します。
[Esc]	サブメニューを終了し、前のメニューに戻ります。または、本ユーティリティを終了します。
[Enter]	設定項目を選択します。
[F2]	[Main]メニュー上で本キーを押すと、[Boot Adapter List]にカーソルが移動します。

■ SCSI コンフィグレーションユーティリティの終了方法

- 1) [Main]メニューで、[矢印]または[Home/End]キーを押し、Exit メニューを表示します。
- 2) [Exit the Configuration Utilities]を選択します。
- 3) 再起動する旨の通知メッセージ「Rebooting system to change global settings... Press any key 」と表示されるので、何かのキーを押します。SCSI コンフィグレーションユーティリティが終了します。

3.2 メニュー項目と意味

以下に、[Main]メニュー、および各サブメニューの項目を一覧で示します。各項目の詳細は、次項以降を参照してください。

■Main Menu (搭載 SCSI カードの情報表示)

項目	説明	出荷時設定値
Adapter	SCSI カード(コントローラ)の名称を示す。 本カードは 53C1010-66 と表示	—
PCI Bus	SCSI カード(コントローラ)が接続されている PCI バス番号を示す。	—
Dev/Func	SCSI カード(コントローラ)の PCI Device/Function を示す(上位 5bit が Device, 下位 3bit が Function)。本項は本体 BIOS が 割当ててる。	—
Port Number	SCSI カード(コントローラ)の I/O Port アドレス を示す。本項は本体 BIOS が割当ててる。	—
IRQ	SCSI カード(コントローラ)の IRQ(割込みレ ベル)を示す。本項は本体 BIOS が割当ててる。	—
NVM	SCSI カード(コントローラ)上に設定を格納する NVRAM を持っているか否かを示す。本カード は常に Yes と表示。	—
Boot Order	SCSI カード(コントローラ)間の Boot 順序を示 す。起動時、本番号が若い順番に SCSI カ ード(コントローラ)に接続された起動可能な SCSI デバイスを検索し、最初に検出された SCSI デバイスから起動する。	—
LSI Logic Control	SCSI カード(コントローラ)が標準のデバイスド ライバを使用可能か否かを示す。本カードは 常に Yes と表示される。	—

■Boot Adapter List (SCSI カード毎の設定)

項目	説明	出荷時設定値
Boot Order	起動時の SCSI コントローラの優先順位	オンボード SCSI コント ローラが最優先
Current Status	SCSI コントローラの BIOS が有効か	—
Next Boot	次回起動時、SCSI コントローラの BIOS を有 効にするか	On (変更禁止)

■Global Properties (SCSI カード、コントローラ共通の設定)

項目	説明	出荷時設定値
Pause When Boot Alert Displayed	起動時に SCSI デバイスをスキャンする際、異常を検出すると停止するか	No
Boot Information Display Mode	起動時、SCSI デバイスの情報を簡略表示するか	Verbose
Negotiate with Device	起動時、SCSI デバイスとの間で転送レートの設定を行なうか	Supported (変更禁止)
Boot Information Display Mode	画面をモノクロとカラーに切り替え	Color
Support Interrupt	割り込みチャネルのサポートするか	Hook interrupt, the Default (選択不可)

■Adapter Properties (SCSI カード毎の設定)

項目	説明	出荷時設定値
SCSI Parity	SCSI バスのパリティ機能を使うか否か	Yes (変更禁止)
Host SCSI ID	SCSI カードの SCSI ID	7 (変更禁止)
SCSI Bus Scan Order	起動時、SCSI バスをスキャンする順序	Low to High(0..Max) (変更禁止)
Removable Media Support	SCSI BIOS が MO 等のリムーバブルディスクユニットをサポートするか	On (変更禁止)
CHS Mapping	ディスクのマッピング方法	SCSI Plug and Play Mapping (変更禁止)
Spin up Delay (secs)	起動時、ディスクの回転を起動する間隔	2sec
Secondary Cluster Server	セカンダリクラスタサーバを有効にするか	No (変更禁止)
Termination Control	本カード上のターミネータを有効にするか	Auto (変更禁止)

■Device Properties (SCSI ID 毎の設定)

項目	説明	出荷時設定値
MB/sec	最大データ転送速度 (MB/s)	160 (選択禁止)
TB/sec	最大データ転送速度 (TB/s)	7 (変更禁止)
Data Width	最大データ転送幅 (bits)	16 (変更禁止)
Scan ID	起動時にスキャンするか否か	Yes (変更禁止)
Scan LUNs > 0	起動時に LUN=1 以降をスキャンするか	On (変更禁止)
Disconnect	コマンド処理時、ディスコネクトを許すか	On (変更禁止)
SCSI Timeout	コマンド処理時のタイムアウト時間	10 sec
Boot Choice	選択した SCSI デバイスから Boot するか	No (選択禁止)
Format	選択した SCSI デバイスに対し、物理フォーマットを実施	
Verify	選択した SCSI デバイスに対し、媒体検査を実施	

3.3 Boot Adapter List の詳細

本メニューは、SCSI カード(コントローラ)の起動順位等を設定します。

本メニューは、メインメニュー上で[F2]キーを押してメニュー選択フィールドに移動後、<Boot Adapter List>を選択することで、表示されます。

```
LSI Logic SDMS (TM) PCI SCSI Configuration Utility Version PCI-4.XX.00
Boot Adapter List
Insert=Add an adapter          Delete=Remove an adapter
Adapter          PCI      Dev/   Boot   Current  Next
                  Bus      Func  Order  Status   Boot
53C895           0       98    [2]    Off      [On]
53C1010-66      0       60    [0]    On       [On]
53C1010-66      0       61    [1]    On       [On]

Hit Insert to select an adapter from this list.
<53C895           0       98>
<53C1010-66      0       60>
<53C1010-66      0       61>

F1=Help          ArrowKeys=Select Item  -/+ =Change [Item]
Esc=Abort/Exit   Home/End =Select Item  Enter=Execute <Item>
```

図3 Boot Adapter List メニュー

● Boot Order (変更禁止)

SCSI カード(コントローラ)間の起動順位を設定します。起動ディスクが搭載されている SCSI カード(コントローラ)を最優先にします。起動ディスクが搭載されている SCSI カード(コントローラ)にカーソルを合わせて[Enter]キーを押し、優先順位(0)を入力します。

■ Current Status (変更不可)

SCSI カード(コントローラ)の BIOS が有効かどうかを表示します。本設定は、Next Boot により変更します。

—On (工場出荷設定値)

BIOS は有効です。

—Off

BIOS は無効です。

○ Next Boot

次回起動時、SCSI カード(コントローラ)の BIOS を有効にするかどうかを設定します。

—On

BIOS を有効にします。

—Off

BIOS は無効にします。

! ポイント

起動ディスクが接続されていない SCSI カード(コントローラ)についても、BIOS は常に有効(On)にしてください。

□ SCSI カード(コントローラ)の Boot Adapter List への追加

[Insert]キーを押すと、画面下部の Adapter List にカーソルが移動します。追加する SCSI カード(コントローラ)にカーソルを合わせて[Enter]キーを押してください。

選択した SCSI カード(コントローラ)が Boot Adapter List(画面上部)に追加されます。

□ SCSI カード(コントローラ)の Boot Adapter List への削除

削除する SCSI カード(コントローラ)にカーソルを合わせて[Delete]キーを押してください。選択した SCSI カード(コントローラ)が Boot Adapter List から削除されます。

! ポイント

起動ディスクが接続されていない SCSI カード(コントローラ)についても、Boot Adapter List 上に表示される様に設定してください。

3.4 Global Properties の詳細

本メニューは、SCSI カード(コントローラ)共通の設定を行いません。

本メニューは、メインメニュー上で[F2]キーを押してメニュー選択フィールドに移動後、<Global Properties>を選択することで、表示されます。

LSI Logic SDMS (TM) PCI SCSI Configuration Utility Version PCI-4.XX.00		
Global Properties		
Pause When Boot Alert Displayed		[No]
Boot Information Display Mode		[Verbose]
Negotiate with devices		[Supported]
Language		[English]
Video Mode		[Color]
Support Interrupt		[Hook Interrupt, the Default]
<Restore Defaults>		
F1 =Help	ArrowKeys=Select Item	-/+ =Change [Item]
Esc=Abort/Exit	Home/End=Select Item	Enter=Execute <Item>

図4 Global Properties メニュー

- Pause When Boot Alert Displayed
起動時の SCSI スキャンで異常を検出すると停止するかどうかを設定します。
 - No (工場出荷設定値)
停止しません。
 - Yes
停止します。

- Boot Information Display Mode
起動時、接続 SCSI デバイス等の情報を簡略化して表示するかしないかを設定します。
 - Verbose (工場出荷設定値)
簡略表示しません。
 - Terse
簡略表示します。

- Negotiate with device (変更禁止)
起動時、接続 SCSI デバイスとの間で、転送速度、バス幅の設定を行なうか否かを設定します。
 - Supported (工場出荷設定値)
 - All
 - None

- Video Mode
画面をモノクロとカラーに切り替えます。
 - Monochrome
画面をモノクロにします。
 - Color (工場出荷設定値)
画面をカラーにします。

- Support Interrupt (変更禁止)
割り込みチャンネルをサポートします。
 - Hook interrupt, the Default (工場出荷設定値)
 - Bypass interrupt hook

- Restore Defaults
設定を工場出荷設定値に戻します。

3.5 Adapter Properties の詳細

本メニューは、各 SCSI カードの設定を行ないます。

本メニューの項目は、全て変更禁止です。特別な指示が無い限り、工場設定値から変更しないでください。

本メニューは、メインメニュー上で変更したい SCSI カードを選択することで、表示されます。

```
LSI Logic SDMS (TM) PCI SCSI Configuration Utility Version PCI-4.XX.00

Adapter Properties
Adapter      PCI      Dev/
             Bus      Func
53C895      0        60

<Device Properties>
SCSI Parity          [Yes]
Host SCSI ID        [7]
SCSI Bus Scan Order [Low to High (0..Max)]
Removable Media Support [None]
CHS Mapping          [SCSI Plug and Play Mapping]
Spinup Delay (Secs) [2]
Secondary Cluster Server [No]
Termination Control [Auto]

<Restore Defaults>

F1 =Help          ArrowKeys=Select Item      -/+ =Change [Item]
Esc=Abort/Exit    Home/End =Select Item      Enter=Execute <Item>
```

図5 Adapter Properties メニュー

● SCSI Parity (変更禁止)

SCSI デバイスからデータを読み込むとき、データのパリティチェックを行なうかどうかを設定します。パリティチェックはデータの正当性を保証する上で重要であるため、常に Yes (工場出荷設定値)を指定します。

—No

SCSI パリティ機能を無効にします。

—Yes (工場出荷設定値)

SCSI パリティ機能を有効にします。

- **Host SCSI ID (変更禁止)**
SCSI カードの SCSI ID を 0 ~7 の間で設定します。SCSI コントローラの SCSI ID は、SCSI バス上で最高の優先順位を持つ「7」に設定しています。この設定は変更しないでください。
- **SCSI Bus Scan Order (変更禁止)**
本サーバの起動時、接続 SCSI デバイスを確認する際の順序を設定します。
 - Low to High(0..Max)(工場出荷設定値)
SCSI ID の小さい順に確認します。
 - High to Low(Max..0)
SCSI ID の大きい順に確認します。
- **Removable Media Support (変更禁止)**
リムーバブルディスクユニット(光磁気ディスクユニットなど)を SCSI BIOS のもとでハードディスクユニットとして扱うかどうかを設定します。
 - None (工場出荷設定値)
ハードディスクユニットとして認識しません。
 - Boot Drive Only
起動ディスクに指定された場合のみ、ハードディスクユニットとして扱います。
 - With Media Installed
媒体が入っている場合のみ、ハードディスクユニットとして扱います。
- **CHS Mapping (変更禁止)**
CHS (シリンダ/ヘッド/セクタ)のマッピング方法を指定します。本設定を変更した場合、正常にデータが読めなくなる場合があります。
 - SCSI Plug and Play Mapping (工場出荷設定値)
一般的な方法で CHS マッピングを行いません。
 - Alternate CHS Mapping
特殊な方法で CHS マッピングを行なう他ベンダー製品との互換性を採るためのものです。
- **Spinup Delay (変更禁止)**
起動時、ハードディスクユニットのモータを起動する間隔を設定します。
 - 0 ~15 (工場出荷設定値は 2)
- **Secondary Cluster Server (変更禁止)**
セカンダリクラスタサーバを有効にするかどうかを設定します。
 - No (工場出荷設定値)
 - Yes

- Termination Control (変更禁止)
 - SCSI カード上のターミネータの設定を行いません。
 - Auto (工場出荷設定値)
 - カードが自動的に認識し、ターミネータの有効、無効を設定します。
 - Auto (工場出荷設定値)
 - ターミネータを無効にします。

- Restore Defaults
 - 設定を工場出荷設定値に戻します。

3.6 Device Properties の詳細

本メニューは、各接続 SCSI デバイスの設定を、SCSI ID 毎に行ないます。

本メニューは、「Adapter Properties」メニュー上で<Device Properties>を選択することで表示されます。

LSI Logic SDMS (TM) PCI SCSI Configuration Utility Version PCI-4.XX.00							
Device Properties							
SCSI ID	Device Identifier	MB/Sec	MT/Sec	Data Width	Scan ID	Scan LUNs>0	Dis-connect
0	Quantum Viking 4.5	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
1	Quantum Viking 4.5	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
2	Quantum Viking 4.5	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
3	Quantum Viking 4.5	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
4	Quantum Viking 4.5	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
5	Quantum Viking 4.5	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
6	-	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
7	53C895	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
8	-	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
9	-	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
10	-	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
11	-	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
12	-	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
13	-	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
14	-	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
15	-	[160]	[80]	[16]	[Yes]	[Yes]	[On]
F1 =Help		ArrowKeys=Select Item			-/+ =Change [Item]		
Esc=Abort/Exit		Home/End =Select Item			Enter=Execute <Item>		

図6 Device Properties メニュー(左部分)

LSI Logic SDMS (TM) PCI SCSI Configuration Utility Version PCI-4.XX.00							
Device Properties							
SCSI ID	Device Identifier	SCSI Timeout	Queue Tags	Boot Choice	Format	Verify	Restore Defaults
0	Quantum Viking 4.5	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
1	Quantum Viking 4.5	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
2	Quantum Viking 4.5	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
3	Quantum Viking 4.5	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
4	Quantum Viking 4.5	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
5	Quantum Viking 4.5	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
6	-	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
7	53C895	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
8	-	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
9	-	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
10	-	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
11	-	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
12	-	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
13	-	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
14	-	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
15	-	< 10>	[On]	[No]	[Format]	[Verify]	<Defaults>
F1 =Help		ArrowKeys=Select Item			-/+ =Change [Item]		
Esc=Abort/Exit		Home/End =Select Item			Enter=Execute <Item>		

図7 Device Properties メニュー(右部分)

■ MB/Sec (変更不可)

SCSI デバイスとの間の、最大転送速度を表示します。本項目の値は、次項の「MT/Sec」×「Data Width」の値になります。

- 160 (工場出荷設定値)
- 80/40/20/10/5/0

● MT/Sec (変更禁止)

SCSI デバイスとの間の、最大転送レートを設定します。本項目は、1 秒間に何回のデータ転送を行なうかを設定します。

SCSI コントローラがサポートする最大同期転送速度を設定します。

- 80 (工場出荷設定値)
- 40/20/10/5/0

- Data Width (変更禁止)
SCSI デバイスとの間の、データ転送幅を bit 単位で設定します。
 - －16 (工場出荷設定値)
 - －8

- Scan ID (変更禁止)
起動時、指定した SCSI デバイスを認識するかどうかを設定します。
 - －Yes (工場出荷設定値)
認識します。
 - －No
認識しません。

- Scan LUNs >0 (変更禁止)
起動時、LUN (Logical Unit Number:論理ユニット番号)を持つ SCSI デバイスについて、LUN=1 以降を認識するかどうかを設定します。
 - －No
認識しません。
 - －Yes (工場出荷設定値)
認識します。

- Disconnect (変更禁止)
コマンド実行時、SCSI デバイスからの SCSI バス切断(ディスコネクション)要求があった場合、許すかどうかを設定します。
 - －On (工場出荷設定値)
ディスコネクトを許可します。
 - －Off
ディスコネクトを許可しません。
- SCSI Timeout
コマンド実行時、SCSI デバイスからの応答をどれくらい待つかを設定します。
 - －0 ~9999
 - 0 ~9999 (秒)の間で設定できます。工場出荷設定値は 10 (秒)です。

- Queue Tags (変更禁止)
SCSI デバイスのキュータグ機能をサポートするかどうかを設定します。
 - －On (工場出荷設定値)
キュータグ機能をサポートします。
 - －Off
キュータグ機能をサポートしません。

- Boot Choice (変更不可)
本カードでは、選択できません。表示のみです。
 - －No (工場出荷設定値)

- Format
ハードディスクユニットが接続されていた場合、物理フォーマットを行いません。
この項目を選択すると、選択したハードディスクユニットの全データが消去されます。
事前に必ずデータのバックアップを取っておいてください。
- Verify
ハードディスクユニットが接続されていた場合、媒体の検査を行いません。
- Restore Defaults
設定を工場出荷設定値に戻します。

第 4 章 デバイスドライバのインストール

本章では、Windows 環境で本製品を使用する際のデバイスドライバのインストール方法を説明します。

4.1 Windows NT4.0 環境

ここでは、Windows NT4.0 環境でのドライバのインストール方法について説明します。

■ Windows NT4.0 を新規にインストールする場合

- ① Windows NT4.0 のインストールマニュアル、およびサーバ本体の取扱説明書を参照して Windows NT4.0 のインストールを進めてください。
- ② 「大容量記憶装置の検出」の画面で、検出を省略するために、[S]キーを押してください。
- ③ 追加デバイスを指定するために、[S]キーを押してください。
- ④ 一覧表示の中から「その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選択して[Enter]キーを押してください。
- ⑤ 「PG-129 Windows NT Driver」をフロッピードライブに挿入して[Enter]キーを押してください。
- ⑥ 表示されたドライバのリストから、「Symbios Ultra3 PCI SCSI Driver」を選択して[Enter]キーを押してください。
- ⑦ 以降、Windows NT4.0 のインストールマニュアル、およびサーバ本体の取扱説明書を参照して Windows NT4.0 のインストールを続けてください。

▶ 「Symbios Ultra3 PCI SCSI Driver」のラベルの付いたフロッピーディスクを要求された場合は、「PG-129 Windows NT Driver」をフロッピードライブに挿入して[Enter]キーを押してください。

■ Windows NT4.0 が既にインストールされている場合

デバイスドライバのアップグレードを行う場合は、次の手順に従って行ってください。

- ① administrator あるいは、同等の件現でログインしてください。
- ② 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」を選択してください。
- ③ 一覧の中から「SCSI アダプタ」を実行してください。SCSI アダプタの一覧が表示されます。「ドライバ」タブを選択し、ドライバの一覧を表示してください。
- ④ 「追加」をクリックしてください。「ドライバのインストール」ウィンドウが表示されます。
- ⑤ 「ディスク使用」をクリックしてください。
- ⑥ フロッピードライブに「PG-129 Windows NT Driver」を挿入し、「配布ファイルのコピー元」に“A:\nt4”と入力して「OK」をクリックしてください。
- ⑦ 「Symbios Ultra3 PCI SCSI Driver」を選択し、「OK」をクリックしてください。
- ⑧ 「今すぐコンピュータを再起動しますか」と表示されたら、「はい」をクリックしてください。
- ⑨ 再起動すればドライバのインストールは完了です。

4.2 Windows 2000 環境

ここでは、Windows 2000 環境へのドライバのインストール方法について説明します。

■ Windows 2000 を新規にインストールする場合


- ① Windows 2000 のインストールマニュアル、およびサーバ本体の取扱説明書を参照して Windows 2000 のインストールを進めてください。
- ② 本製品に対応する適切なドライバをインストールするために、画面が青に変わり、画面下に以下の内容が表示されたら、すぐに[F6]キーを押してください。
Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver...
- ③ 以下のメッセージが表示されたら[S]キーを押してください。
Setup could not determine the type of one or more mass storage device installed in your system, or you have chosen to manually specify an adapter. Currently, setup will load support for the following mass storage device(s):
- ④ 以下のメッセージが表示されたら、「PG-129 Windows 2000 Driver」をフロッピーディスクドライブに挿入し、[Enter]キーを押してください。
Please insert the disk labeled Manufacture supplied hardware support disk into Drive A.
- ⑤ 以下のメッセージが表示されますので、リストから「Ultra3 PCI SCSI Driver」を選択して[Enter]キーを押してください。
- ⑥ 以降、Windows 2000 のインストールマニュアル、およびサーバ本体の取扱説明書を参照して Windows 2000 のインストールを続けてください。

☞ 「Symbios Ultra3 PCI SCSI Driver」のラベルの付いたフロッピーディスクを要求された場合は、「PG-129 Windows 2000 Driver」をフロッピードライブに挿入して[Enter]キーを押してください。

■ Windows 2000 が既にインストールされている場合

デバイスドライバのアップグレードを行う場合は、次の手順に従って行ってください。

- ① Administrator、あるいは同等の権限でログインしてください。
- ② 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」を選択してください。管理ツールの一覧の中から「デバイスマネージャ」を実行してください。システム上のデバイスが種類別に表示されます。
- ③ 「SCSI と RAID コントローラ」の下に「Symbios Ultra3 PCI SCSI Adapter; 53C1010-66 Device」が表示されていますので、ダブルクリックしてください。
- ④ 「ドライバ」タブを選択し、「ドライバの更新」をクリックしてください。
- ⑤ 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が開始されますので、「次へ」をクリックしてください。
- ⑥ 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。
- ⑦ デバイスドライバの選択で、「ディスク使用」をクリックしてください。
- ⑧ フロッピドライブに「PG-129 Windows 2000 Driver」を挿入してください。
- ⑨ 「製造元のファイルのコピー元」に、“A:¥win2000”と入力して「OK」をクリックしてください。
- ⑩ 「モデル」の一覧の中から「Symbios Ultra3 PCI SCSI Driver」を選択し、「次へ」をクリックしてください。
- ⑪ 「次のハードウェアデバイスのドライバをインストールします」というウィンドウで、「Symbios Ultra3 PCI SCSI Driver」が表示されているならば、「次へ」をクリックしてください。ドライバの更新が開始されます。

 クリックした後、「デジタル署名が見つかりませんでした」というウィンドウが表示されることがあります。このウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてインストールを続けてください。

- ⑫ 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」ウィンドウが表示されますので「完了」をクリックしてください。
- ⑬ 「今すぐコンピュータを再起動しますか」と表示されたら、「はい」をクリックしてください。
- ⑭ 再起動すればドライバのインストールは完了です。

第5章 トラブルシューティング

4.1 チェックポイント

SCSI カードに関する大半の問題は、セットアップ時のミスが原因です。問題が発生した場合には、まず下記の点を確認してください。

- ・ サーバ本体の取扱説明書で指定された PCI バススロットに正しく搭載されていますか？
- ・ SCSI ケーブルや電源ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ SCSI デバイスの SCSI ID は重複していませんか？
- ・ ターミネータは正しく設定されていますか？
- ・ サーバ本体の BIOS セットアップは正しく設定されていますか？
- ・ SCSI コンフィグレーションユーティリティによる本製品のセットアップは正しく設定されていますか？
- ・ デバイスドライバは正しくインストールされていますか？

以上の点を確認しても、問題が解決しない場合は、下記に進んでください。

- ・ 本製品をセットアップするに当たって変更した内容が、電源を再投入後も正しく設定されていることを確認してください。
- ・ 本体起動時、本製品に接続されている SCSI デバイスが正しく表示されていることを確認してください。
- ・ 接続されたハードディスクユニットに対して Verify を実行し、正常に終了することを確認してください。異常終了する場合は、ハードディスクユニット、または媒体に問題があると考えられます。

4.2 Windows 環境でのイベント

本製品を Windows NT4.0 あるいは Windows 2000 上で使用中、本製品のデバイスドライバが何らかの異常を検出した場合、以下のイベントが OS のシステムログにロギングされます。

これらのイベントがロギングされた場合、OS は SCSI デバイスへの処理を再度、試みます。その後の SCSI デバイスに対する処理が正常に行われている場合は、SCSI デバイスへの負荷が高い等、一時的なものと考えられますので無視してください。

ただし、これらのイベントが何度もロギングされる場合、SCSI デバイスに対する処理が正常に行なわれない場合は、本製品、SCSI デバイス、SCSI ケーブルのいずれかに問題があると考えられます。

ソース: sym_u3

分類: なし

ID: 11

種類: エラー

説明: デバイスxxxxでコントローラエラーを検出しました

SCSI デバイスに対する処理中に何らかの異常を検出したことを示します。

ソフト的な要因で不適切なコマンドが SCSI デバイスに発行された場合、SCSI デバイスがリセットされた場合等にも、本イベントがロギングされます。

ソース: sym_u3

分類: なし

ID: 11

種類: エラー

説明: デバイスxxxxにまだアクセスできません

SCSI デバイスから応答がなく、処理が行なえなかったことを示します。

SCSI デバイスの起動が完了する前に OS が起動した場合、ソフト的な要因で SCSI デバイスがリセットされた場合等にも、本イベントがロギングされます。

ソース: sym_u3

分類: なし

ID: 11

種類: エラー

説明: デバイスxxxxから一定時間内に応答がありませんでした

SCSI デバイスに対する処理が一定時間内に終了しなかったことを示します。

一時的に SCSI デバイスへの負荷が高かった場合等にも、本イベントがロギングされます。

PRIMERGY
SCSIカード(PG-129)

取扱説明書

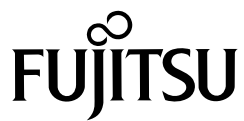
B7FY-0431-01-00

発行日 2002年5月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。



このマニュアルは再生紙を使用しています。